

会 報 《第445号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和5年1月1日

《目 次》

I	新年ご挨拶	会 長	山 本 康一郎	・・・ 2頁
II	新春メッセージ	「躍動する兵庫、新時代への挑戦」		・・・ 3頁
		兵庫県知事	齋 藤 元 彦	
III	新年ご挨拶	役 員	一 同	・・・ 4頁
IV	会員寄稿	「阿比野建設 株式会社」		・・・ 5頁
		阿比野建設（株） 代表取締役社長	阿比野 剛 氏	
V	事業推進委員会の開催			・・・ 7頁
VI	お知らせ・広報コーナー	行事予定、編集後記、住宅再建共済制度		・・・ 7頁～8頁



謹 賀 新 年

《新 年 の ご 挨拶》



一般社団法人 兵庫県建築会

会 長 山本 康一郎

新年明けましておめでとうございます。

本年が皆さまにとりまして、健やかで希望に満ちた素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年のワールドカップカタール大会では、初の8強進出をかけたクロアチアとの戦いはPK戦の末惜しくも敗退しましたが、地元の堂安選手の活躍など日本チームの戦い方は世界に通用することを示し、日本全体が大いに盛り上がりました。

さて、当会本年度の事業活動はコロナ禍が続く中、三宮を離れた移動月例会を開催し、西神中央駅前にオープンした「西神中央 なでしこ芸術センター」を訪れ、久米設計様、鹿島建設様の案内のもとに視察月例会を行いました。また、自然豊かな舞子公園に建つ移情閣では、蔣 海波主任研究員による「神戸と孫文 近代中国」をテーマにし、趣向を凝らした講演月例会も開催しました。

一方、我々会員を取り巻く環境は、ロシアのウクライナ侵攻を受け、資源価格の高騰、中国のゼロコロナ政策などによる供給面の制約と円安の影響による資機材価格の上昇が起こり先行き不透明な状況です。他方、ワクチン接種が進んだことなどから、感染症法上の分類と措置の議論ではコロナ感染症は収束に向かい、本年は、経済活動が活発になると思います。そして、当会もコロナ前のように自由に談笑し、建築会らしく会員間の交流が深まる活動を活発に行いたいと考えています。

次に、昨秋コロナ感染者数が増加し延期した創立75周年記念講演会は、1月12日開催の新春会員交流会と併せて開催しますので、皆さまとの出会いを楽しみにしています。また、講師としては、改めて河田恵昭京都大学名誉教授様をお招きし、演題「新しい価値観に基づく防災対策」についてご講演を賜ります。コロナ禍でも自然災害は待ってはくれません。また、コロナを経験したことによる新たな課題も見えてまいりました。現代社会において安全安心への取り組みは欠かせず、これからも建築会として重要なテーマの一つと考えていますので奮ってのご参加をお待ちしております。

当会は戦後間もない昭和22年3月15日設立され、我々会員は、様々な自然災害など幾度もの危機を乗り越えてきました。当会の役割は75年を経た今日も変わらず、建築に携わる人々のネットワークを紡ぐことであり、変わらぬ精神を持ち続けたいと考えています。引き続き皆さまからのご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とします。



《新 春 メ ッ セ ー ジ》

「躍動する兵庫、新時代への挑戦」

兵庫県知事

齋藤元彦

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が広がりを見せてから3年が経過しました。これまでの経験と教訓を活かしながら、感染防止対策と社会経済活動を両立させるウィズコロナの時代に入ったと言えるでしょう。一方、混迷するウクライナ情勢等を背景にした物価高騰や円安が、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。

こうした変化の大きな時代だからこそ、受身になることなく、新たな挑戦を起こすことが大切ではないでしょうか。令和5年は「躍動する兵庫」の実現に向け、果敢にチャレンジする年にしたいと思います。

その一つは、新たな産業活力の創出です。中小企業やスタートアップが持っている既存の技術と地域課題とのマッチングを広げ、新たなイノベーションを生み出します。また、水素エネルギーの利活用や中小企業のCO₂排出量削減の支援強化など、脱炭素社会に向けた取組を加速させます。ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代モビリティの社会実装にも挑みます。

また、兵庫が関西と瀬戸内の結節点にあるという好立地を活かし、両エリアをつなぐ大交流圏の形成をめざします。大阪・関西万博が開催される2025年には、瀬戸内国際芸術祭も開催される予定です。県内各地をパビリオンに見立てて誘客する「フィールドパビリオン」を核に、関西圏域とは万博に関連した連携事業を、瀬戸内圏域とは芸術・文化等をテーマにした連携事業を行えるよう、着実に準備を進めていきます。

若者の学びの場も充実させます。県立高校等において、魅力・特色あるカリキュラムの充実やICT化を進めることに加え、生徒ファーストの視点で、老朽化が進む学校の施設・設備や部活動の用具・備品等を改善します。中高生からのアントレプレナーシップ（起業家精神）教育も推進し、課題解決に主体的に取り組む力を伸ばします。

県政の推進にあたって、今年ももっとも大切にする姿勢は、現場主義の徹底と対話の重視です。私自身、引き続き積極的に県内各地域に足を運び、医療や交通、観光、教育など様々な課題について県民の皆さまと対話をし施策につなげていきます。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

迎

春



旧年中は弊会の運営にあたりまして、会員並びに関係者の皆様には格別のご高配を賜り、ありがとうございました。
本年もより一層のご指導、ご鞭撻を頂きますようお願いいたします。

令和5年元旦

＝役員－＝

名誉顧問 竹村 章
瀬戸本 淳

会 長 山本康一郎
副会長 大木 弘恵
川端 宏幸
出野上 聡

顧 問 西谷 一盛
根岸 芳之
吉村 文章
松田 隆
宮宅 勇二
柏本 保
西上 三鶴
棚田 肇
石田 邦夫

理 事 岡 澄彦
松本 章
北浪 孝一
矢間 照人
河野 潤也
湖亀 一登
宮崎 健一
吉本 義幸
監 事 山田 聖一
立花 充

幹 事 木下 勝功
瀬尾 武夫
前川 真一郎
池内 修
谷口 正樹
吉川 壽一
坂井 豊
長坂 浩
杉田 健一
安田 宏



Ⅳ 会 員 寄 稿

「 阿 比 野 建 設 株 式 会 社 」

代表取締役社長 阿比野 剛 氏（当会会員）

1. 会社紹介

1955（昭和 30）年 9 月に当時の新日本製鐵広畑製鐵所の協力会社として創業を開始し、3 年後の昭和 33 年に会社を設立致しました。弊社は「建築」「環境」「日本製鉄構内事業」「住宅事業」「不動産賃貸」の五つの柱のもと、技術力・商品力・コスト力を研鑽しながら、より社会に貢献できる企業を目指しております。オンリーワンの技術を活かし、積極的に事業展開致しております。

昨今では WTO 案件の『県立はりま姫路総合医療センター（仮称）病院棟外建築工事』を特別 JV（大林組・北村工務店・阿比野建設）で地域社会の発展に直結する大型案件にも携わらせていただけるようになりました。

創業 60 年以上にも及ぶ社歴の中で着実に一歩ずつ、目の前の仕事に愚直に取り組んでいます。

2. 建築事業部における業務

建築事業部では先進の NSSF 工法やシステム建築スタンパッケージ R によるオンリーワンの施工技術を目指しております。

施工実績も分譲マンションや戸建、学校、病院、工場、福祉施設、ホテルなど実に多岐に渡ります。社会基盤づくりの担い手として都市インフラ整備や工場内の配管工事なども幅広く手がけています。

3. 施工実績

1) サクラメント大津みやび野／2013



2) 姫路プロジェクト個人住宅／2014



3) ルートイン加西北条の宿／2018



4) 特別養護老人ホーム／2018



5) 事務所・冷蔵庫棟／2018



8) 兵庫県立はりま姫路総合医療センター
立体駐車場／2022



6) 運送会社配送センター／2021



4. 今後の展開

NSSF 工法及びスタンパッケージ R といった独自性の高い施工能力により一層磨きをかけながら、これまでと変わらずに目の前の仕事に向き合い堅実に一歩ずつ実績を積み重ねてまいります。

近年の働き方に対応すべく、DX 化にも積極的に取組み、従業員一人ひとりの働きがい求めて良き物を残しながら新しい時代に向け邁進致します。

最後となりましたが、本年度より本会への入会させていただきました。今後は会員の皆様と末永くお付き合いさせていただきながら、地域社会へ貢献し、兵庫県を盛り上げるお手伝いが出来ればと考えています。

7) 兵庫県立はりま姫路総合医療センターJV
／2022



姫路市広畑区／阿比野建設本社

V 事業推進委員会

事業推進委員会が下記のとおり開催されました。

日 時：令和4年12月8日（木）

17:00～19:00

場 所：神戸元町 梅の花

参集者：会員等 19名

(1) 講演会 17:00～17:30

演 題：「建設業を取り巻く現状・課題と
建設業法について」

講 師：兵庫県土木部契約管理課
栗田 圭介 氏

(2) 懇談会 17:30～19:00

建設業を取り巻く現状・
課題と建設業法について

令和4年12月

兵庫県土木部契約管理課 栗田圭介

VI お知らせ

◎行事予定

- 1 創立75周年記念講演会
及び新春会員交流会

日時：令和5年1月12日（木）

（75周年記念講演会 15:00～16:30）

演題：「新しい価値観に基づく防災対策」
～相転移災害の発生を阻止する～

講師：京都大学名誉教授
河田 恵昭 氏

（新春会員交流会 17:00～19:00）

場所：神戸三宮東急 REI ホテル

- 2 第507回月例会

日時：令和5年2月9日（木）

13:00～14:00

場所：神戸三宮東急 REI ホテル

演題：「神戸市の都市再生」

講師：神戸市都市局都市再生本部長
中原 信 氏

- 3 第508回月例会

日時：令和4年3月9日（木）

13:00～14:00

場所：神戸三宮東急 REI ホテル

演題：「コロナ禍における
メンタルヘルス」

講師：元兵庫県立大学教授
近澤 範子 氏

◎編集後記

あけまして、おめでとうございます。

コロナに始まり、コロナに終わった感が強い昨年でしたが、前向きに、新たな気持ちで、兵庫県建築会の事務に携わって参りたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いします。

事務局：吉本義幸、石井滝実子
電 話：078-996-2851
FAX：078-996-2852
Email：archit-k@axel.ocn.ne.jp



安心をカタチに

兵庫県住宅再建 共済制度 フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%！
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟！

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した
住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ！**

県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に

住宅再建共済

年額**5,000円**で
再建、補修時等に

最大600万円 給付！

※半壊（損害割合 20%）以上

一部損壊特約

年額**500円**で
補修時等に

25万円 給付！

※損害割合10%以上20%未満

県内の住宅（借家含む）にお住まいの方に

家財再建共済

単独加入 年額**1,500円**で
住宅とセット加入の場合 年額**1,000円**で

購入・修復時に **最大50万円** 給付！

※床上浸水・半壊以上

※住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 検索 ★加入申込書はダウンロードできます★



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局（簡易郵便局除く）にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です！